

清川町 合川 地区

青丸⇒豊後大野市の平均と比較して結果がよかった項目（点線は少しよかった項目）
赤丸⇒豊後大野市の平均と比較して心配な項目（点線は少し悪かった項目）

人口

◆人口・世帯数

人口 542人
世帯数 268世帯



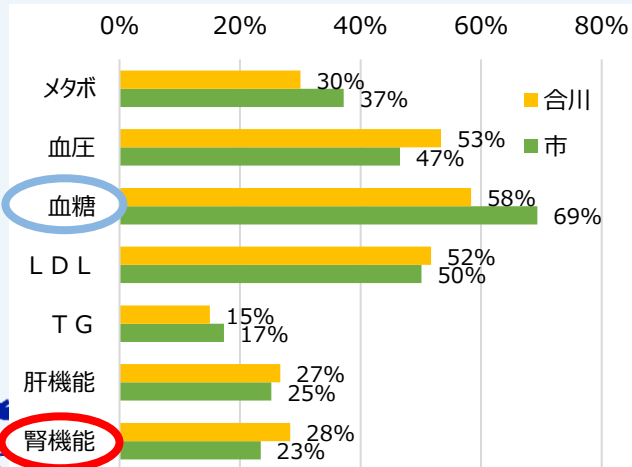
◆人口に占める高齢者の割合

65歳以上 58.7% (市全体 44.6%)
75歳以上 39.9% (市全体 25.6%)

豊後大野市内の25地区のうち、人口は8番目に少なく、高齢化率は9番目に高い地域です。

健診 〈国民健康保険：40歳～74歳〉

◆健診有所見率(n=60)



市平均 44.1%

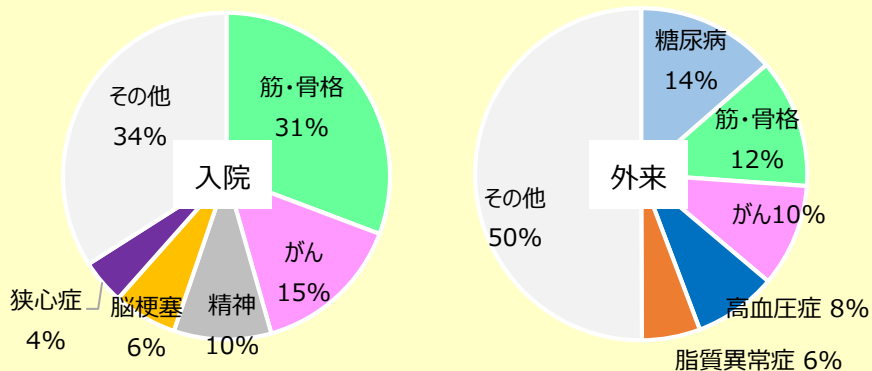
健診受診率 49.2% (市内25地域中3番目)

◆生活習慣 (健診時の質問票より) (n=60)

	合川	市
たばこを吸っている	11.7%	12.2%
20歳時体重から10kg以上増加	28.8%	33.3%
人と比べて歩くのが遅い	67.8%	63.0%
人と比べて食べる速度が速い	33.9%	27.4%
間食を毎日とっている	20.3%	17.1%
週3回以上朝食を抜くことがある	3.1%	5.6%
お酒を毎日飲んでいる	32.2%	26.0%
睡眠が十分とれていない	28.8%	27.3%

医療 〈国民健康保険：40歳～74歳 (n=124)〉

◆医療費に占める疾患の割合



入院医療費の3割が筋・骨格で、脳梗塞、狭心症も高くなっています。

脳梗塞や狭心症は生活習慣病が重症化した状態といえます。外来医療費の上位を占める、糖尿病、高血圧、脂質異常症を適切にコントロールすることで、重症化を予防できます。

健診結果から、血糖値が高い人の割合が市の平均よりも低い状況です。しかし、腎機能が低下している人の割合は、市の平均よりも高くなっています。

健診時の質問票から、「人と比べて食べるのが速い」「お酒を毎日飲んでいる」と回答した人の割合が少し高くなっています。

腎機能は高血糖や高血圧などが原因で、低下すると言われてます！
自分の体の変化に気づくためにも、毎年健診を受けましょう！



健診

〈後期高齢者医療保険：75歳以上〉

健診受診率 22.1% (市内25地域中16番目)

◆生活習慣 (健診時の質問票より) (n=47) 市平均 21.6%

	合川	市
健康状態がよくない・あまりよくない	10.6%	10.3%
お茶や汁物等でむせる	21.3%	21.2%
6ヶ月で2~3kg以上の体重減少あり	25.5%	12.4%
以前に比べて歩く速度が遅い	61.7%	60.3%
この1年に転倒あり	25.5%	19.6%
ウォーキングなどの運動習慣あり	53.2%	61.6%
同じことを聞くなど物忘れあり	21.3%	15.6%
週に1回以上の外出あり	85.1%	89.5%

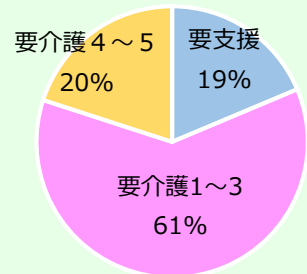
介護

(65歳以上)

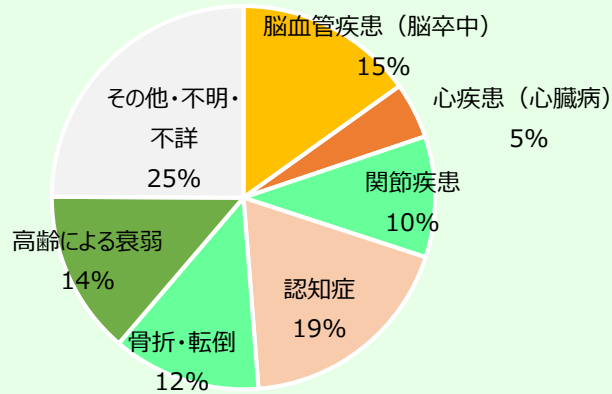
◆介護保険の認定を受けている人の割合

市平均 20.8%

26.7% (市内25地域中5番目)



◆介護が必要となった主な原因 (全国統計)

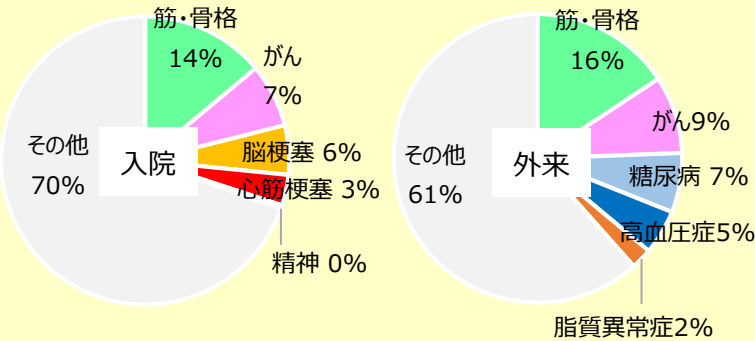


資料：厚生労働省「国民生活基礎調査」(平成28年)

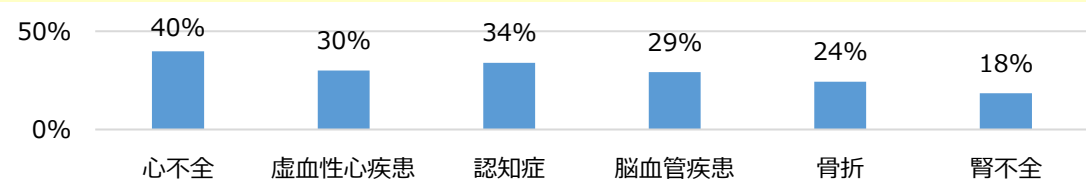
医療

〈後期高齢者医療保険：75歳以上〉(n=216)

◆医療費に占める疾患の割合



◆介護認定を受けている方が罹っている疾患



入院医療費では、筋・骨格が最も多く、脳梗塞、心筋梗塞も高くなっています。

これらの疾患が重症化すると、介護が必要になる可能性が高くなります。

外来医療費の上位を占める、糖尿病、高血圧、脂質異常症を適切にコントロールすることで、重症化を予防できます。

ワンポイントアドバイス!

～低栄養予防～

低栄養状態が続くと、体の筋肉が落ちるだけでなく、認知症や脳卒中、心筋梗塞の恐れアップ!

1. 1日3食しっかり食べる
2. 毎日バランスよく食べる (主食・主菜・副菜) (特にタンパク質を意識して!)
3. 自分にあった運動を見つけ、こまめに体を動かす



【参考資料】 人口・介護) 令和4年3月31日時点データより (高齢者福祉課作成)
 介護度別疾病状況: DHPシステム 高齢者フレイル経年票 (令和3年度)
 医療) MAPシステム疾病分類別医療費分析～生活習慣病分類～ (令和3年度抽出)

健診) 健診有所見: KDBシステム保健事業介入支援管理～健診受診あり～ (令和3年度抽出)
 生活習慣: MAPシステム質問票調査の状況 (項目別) (令和3年度抽出)

令和4年12月 豊後大野市役所市民生活課健康推進室 作成